

**特別企画展「熊谷守一美術館 41 周年展 守一と故郷。」**  
**令和 8 年 4 月 14 日から 6 月 28 日まで開催します！**  
**～故郷 付知との絆に焦点を当てた作品・資料を紹介します～**



豊島区立熊谷守一美術館は、令和 8 年 4 月 14 日(火)から 6 月 28 日(日)までの期間、特別企画展「熊谷守一美術館 41 周年展 守一と故郷。」を開催します。

本展は、区内にアトリエを設けて活動した画家 熊谷守一とその故郷である つけち 付知の絆に焦点を当て、守一と付知の関わりについて読み解いていく企画展です。守一は、1880 年に付知村(現在の岐阜県中津川市付知町)で生まれましたが、幼い頃にその土地を離れ、故郷とのつながりはわずかでした。しかし、30 代の約 5 年間で付知の実家で過ごしており、山に囲まれた豊かな自然の中で生活した経験は、後々まで守一の作品の中に生き続けました。

期間中は、実家で過ごした 30 代の頃に描いた「馬」をはじめ、付知やその周辺を描いた作品、晩年人気となった草花や木々に覆われた自宅の庭の生きものたちをモチーフに描いた作品など、付知の息遣いを感じることができる作品

を展示します。さらに、昨年に開館 10 周年を迎えた付知の「熊谷守一つけち記念館」が所蔵している作品を中心に、守一と付知に関わる貴重な作品・資料を紹介。守一の心に宿る故郷 付知の姿をご覧ください。

開催にあたり美術館の担当者は「熊谷守一が故郷で過ごした 30 代の数年間は、後年の作品にも生かされる守一の鋭い観察眼『ものの見方』を養った時間といえます。本展を通して、画家 熊谷守一と故郷 付知とのつながりをご覧くださいいただければ幸いです」と話します。

■特別企画展「熊谷守一美術館 41 周年展 守一と故郷。」開催概要

会期:令和 8 年 4 月 14 日(火)から 6 月 28 日(日)

※休館日:月曜日(祝日問わず)

時間:10 時 30 分から 17 時 30 分(最終入館:17 時)

会場:豊島区立熊谷守一美術館(豊島区千早 2-27-6)

観覧料:一般 700 円、高・大学生 300 円、小・中学生 100 円、小学生未満無料

※ 豊島区在勤・在住の証明をご提示の一般の方は 600 円でご覧いただけます。

※ 団体(15 人以上)でのご利用の際は、事前にお問い合わせください。

※ 障害者等手帳ご提示の方の割引もごさいます。詳細は公式ホームページをご確認ください。

主催:豊島区立熊谷守一美術館

公式ホームページ: <https://kumagai-morikazu.jp/exhibition/6501e76Y>

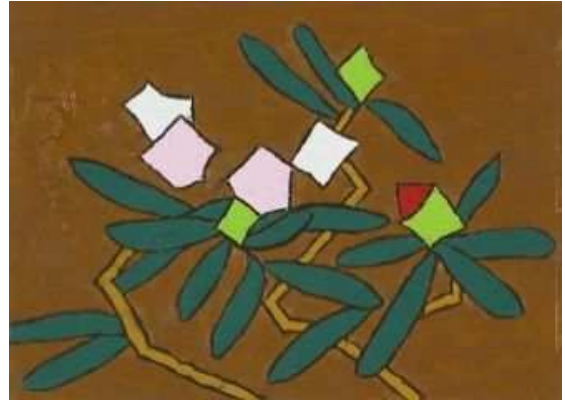
公式 X: <https://x.com/kumagaimorikazu>

公式インスタグラム: <https://www.instagram.com/cafekaya1710044/>

## ■展示写真

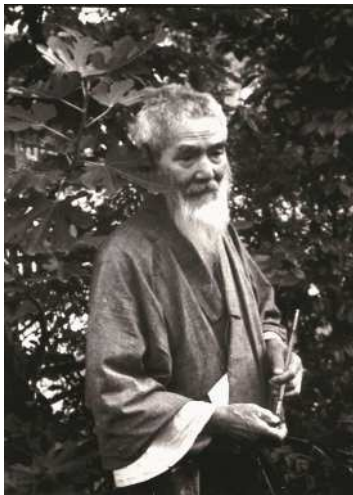


「馬」



「しゃくなげ」

## ■熊谷守一(くまがいもりかず)とは



熊谷守一(1880-1977)は、明治から昭和にかけて、97年という長い歳月を生きた画家です。若い頃はアカデミックな作風でしたが、音楽や機械の仕組みにも関心があった守一は、絵を構成する“色”や“かたち”の仕組みを自ら探究しました。

そして仲間の支えを受けたり、自宅兼アトリエを建て制作環境を整えたりしながら画風を変化させ、70歳を過ぎた頃には、単純化した彩色とはっきりした輪郭線を用いた「モリカズ様式」を確立しました。